



東京都稲城市

東京都稲城市百村112-1

担当課: 福祉部健康(保健センター)

〒206-0804

☎042-378-3421 FAX042-377-4944

<http://www.city.inagi.tokyo.jp/>

Eメール: kenkou@city.inagi.lg.jp

本市のデータ

- (1) 面積 17.97km²
- (2) 位置 稲城市は、南多摩地区の東端にあり、東南部より西部にかけて神奈川県川崎市と接し、北は、多摩川を隔て府中市、調布市に接し、北部は多摩市に接しています。
東京都心の新宿から西南に約25キロメートル離れて位置しており(東経139度30分29秒、北緯35度38分5秒)東西、南北ともに約5.3キロメートル、面積17.97平方キロメートル、北の境界線に当たる多摩川を一辺として、ほぼ三角形をなしています。
南側には多摩川に並行して標高約45から80メートルのなだらかな多摩丘陵(最高海拔162メートル)があり、また当市の中央部には三沢川が流れ、市を西北部と東南部に二分しており、大丸地区に谷戸川が西北部から東南部へと流れています。
- (3) 人口 85,083人 世帯数 36,036世帯 (平成23.6.1現在)

本市の概要

稲城市は、明治22年4月の町村制により、矢野口、東長沼、大丸、百村、坂浜、平尾の6か村が合併して、神奈川県稲城村が誕生しました。明治26年4月、三多摩郡は神奈川県から東京府に移管されました。

昭和32年4月に人口10,145人で稲城町となりました。昭和40年代に入ると、JR南武線の複線化や京王相模原線の開通で人口が急激に増加しました。

昭和46年11月1日、人口36,800人で稲城市(東京都で26番目)となりました。多摩ニュータウンの開発に伴い現在も人口増加率が高くなっています。

稲城市の特産 なし・ぶどう

市の花「梨」

梨は江戸時代から元禄期から栽培され、現在も稲城市の特産物です。矢野口、東長沼、押立を中心におよそ35haの梨畑があります。春の盛りに白い花がどこまでも続いているのは、稲城を代表する風景のひとつです。

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

稲城市では、自殺予防の取り組みとして普及・啓発を目的とした講演会事業を実施しております。

市内の自殺者の現状は、30代から40代の働き盛りの年代に多く、ついで高齢者です。自殺を図った人は大多数がうつ病等の精神疾患に罹患していると言われています。うつ病は有効な治療法が確立しており、早期発見・早期治療を図るための取り組みが重要となっています。

このことから、稲城市ではうつ病になっていることに本人及び周囲が早期に気づき、気づいたときの対応方法を知ることによって自殺予防につながると考え、うつ病等予防の普及啓発に関する講演会を実施しております。

＜具体的な取組み＞

1. うつ病等予防講演会

平成17年度～

年3回講演会を実施(うち1回は稲城市社会福祉協議会が主催)。

2. ゲートキーパー研修

平成21、22年度

民生委員、介護事業者など相談業務に従事している方、市内の福祉・医療の関係機関に所属している方、人事課と連携し市職員を対象に年1回実施した。

＜平成23年度事業予定＞

◇第1回 こころのSOSに気づいていますか？～うつ病を中心に～

日 時：平成23年9月22日(木) 午後2時～4時

講 師：桜ヶ丘記念病院院長 岩下 覚(いわした さとる)氏

内 容：うつ病のサインを見つけるためにはどうしたらよいか、うつ病とはどのような病気かを、精神科医師が分かりやすくお話します。

◇第2回 自分でできるこころのケア～ストレスをのりきるために～

日 時：平成23年9月29日(木) 午後2時～4時

講 師：水澤都加佐横浜カウンセリングオフィス所長 水澤 都加佐(みずさわ つかさ)氏

内 容：ストレスとうまくつきあえないと、うつ病などを引き起こすことがあります。上手に対処するヒントを実技も織り交ぜながらカウンセラーがお話します。

◇第3回 こころのSOSに気づいたら

日 時：平成23年10月5日(水) 午後2時～4時

講 師：桜ヶ丘記念病院院長 岩下 覚(いわした さとる)氏

内 容：自分自身はもちろん、家族など身近な人のうつ病のサインに気づいたときにどうしたらよいか、接し方や声のかけ方、受診の促し方、治療法などを精神科医師がわかりやすくお話します。さらに、みなさんひとりひとりができることをいっしょに考えてみませんか。

平成23年度うつ病講演会

気づいていますか？ こころのSOS ～うつ病になる前に～

3月の震災、原発事故の後「なんとなく不安だ」「いらいらする」「理由もないのにあせっている」「寝れやすい」といったことはありませんでしたか？

ひょっとしたら？こころからのSOSサインかもしれません。このサインに気づかないでいると、うつ病などの病気を引き起こすことがあります。うつ病は重症になると、自傷につながることもあります。

私たちはどのようにしたらよいのでしょうか。

いっしょに考えてみませんか。

今回の講演会は3回シリーズですが、一回のみのご参加もできます。



◇第1回 こころのSOSに気づいていますか？ ～うつ病を中心に～

日 時：平成23年9月22日(木) 午後2時～4時

講 師：桜ヶ丘記念病院院長 岩下 覚(いわした さとる)氏

内 容：うつ病のサインを見つけるためにはどうしたらよいか、うつ病とはどのような病気かを、精神科医師が分かりやすくお話します。

定 員：100名

会 場：地域復興プラザ4階会議室

※裏面に第2回・第3回講演会のご案内も載っておりますので、ぜひご覧ください。
この講演会は、42554支ええプロジェクトの一環として取り組んでいます。

◇第2回 自分でできるこころのケア ～ストレスをのりきるために～

日 時：平成23年9月29日(木) 午後2時～4時

講 師：水澤都加佐横浜カウンセリングオフィス所長

水澤 都加佐(みずさわ つかさ)氏

内 容：ストレスとうまくつきあえないと、うつ病などを引き起こすことがあります。上手に対処するヒントを実技も織り交ぜながらカウンセラーがお話します。

定 員：100名

会 場：地域復興プラザ4階会議室

◇第3回 こころのSOSに気づいたら

日 時：平成23年10月5日(水) 午後2時～4時

講 師：桜ヶ丘記念病院院長 岩下 覚(いわした さとる)氏

内 容：自分自身はもちろん、家族など身近な人のうつ病のサインに気づいたときにどうしたらよいか、接し方や声のかけ方、受診の促し方、治療法などを精神科医師がわかりやすくお話します。

さらに、みなさんひとりひとりができることをいっしょに考えてみませんか。

定 員：100名

会 場：地域復興プラザ4階会議室

◎要約筆記付きですが、手話通訳の必要な方は予約時にお申し込みください。

【会場のご案内】

稲城市地域復興プラザ

(稲城市東長谷2-12-1)

稲城消防署、道路をはさんで向かいの建物です。

☆交通アクセス

原庄線稲城駅から徒歩約10分

稲武線稲城長沼駅から徒歩約15分

※近くには稲城市役所駐車場があります。

ただし、駐車台数に限りがありますので、

なるべく公共交通機関をご利用ください。

◎場 所：南多摩保健所

◎主 催：稲城市福祉部健康課(稲城市保健センター)

稲城市社会福祉協議会 地域活動支援センター

◎共 催：稲城市福祉部障害福祉課



申し込み・問い合わせ：稲城市保健センター

電話 042-378-3421 FAX 042-377-4944